

神奈川県議会議員 石川ひろのり

県議会レポート 2025 vol.38

石川ひろのり事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614
info@hiro-ishikawa.jp

県議会控室 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933



facebook



HP

石川ひろのり 検索



県政
刷新

国庫補助金1億3,000万円超の収入漏れ問題 責任の所在と信頼回復のあり方を問う

国庫補助金1億3,000万円の収入漏れ問題について

石川】 国庫補助金の収入漏れに関する報告書案を確認したが、原因や責任の所在が明確に示されていない。なぜ記載がなされていないのか。

総務局副局長兼総務室長】 職員の責任は「懲戒処分」と「人事上の措置」に区分される。今回は後者に該当し、公表基準にあたらなため報告書に記載していない。懲戒処分であれば記者発表を行うが人事上の措置は公表対象外である。

石川】 処分内容を伏せても、責任を問うた事実は明記できるのではないかと。その姿勢が県民の信頼回復につながるのではないかと。

総務局副局長兼総務室長】 不利益処分の性質上、公表は控えているが、この委員会質疑の場を通じて状況を説明している。

石川】 損失は1億3,000万円を超える。責任が曖昧では信頼回復につながらない。書類紛失の経緯を改めて確認する。

総務局副局長兼総務室長】 会計局は「受け取っていない」、県土整備局は「届けた」と主張が食い違っていた。調査の結果、誤って廃棄された可能性もあり「紛失」と認定した。

石川】 同様の事案は過去にもあるか。

総務局副局長兼総務室長】 令和6年度に4件、令和7年度には本件を含め2件の文書紛失を把握している。いずれも人事上の措置を講じた。

石川】 他自治体では、上司や首長が減給や戒告の処分を受けている。本県の対応は軽いのでは。

総務局副局長兼総務室長】 他自治体の事例は原因が特定されているが、本件は書類紛失の直接原因が特定されていないため処分量定が異なる。本県も必要な調査の上で適切に対応している。

石川】 原因が特定できていないという理由で、明確な責任を示さないのは納得できない。金額規模も大きく県民の理解は得られない。また、「年度末の業務集中」など業務過多を理由に処分を軽減することも疑問である。

総務局副局長兼総務室長】 処分量定の判断では、行為そのものだけでなく、発生時の背景や業務量なども総合的に考慮する。こうした業務過多の状況を再発防止の観点から改善していくことが重要であると認識している。

石川】 今後の再発防止と信頼回復のために責任の所在を明確にし、原因・対応策を速やかに公表することが不可欠である。組織としての姿勢が問われている点を強く指摘しておく。

スクラップ・アンド・ビルドの徹底とDX活用で効率的な予算編成を

石川】 来年度は約500億円の財源不足が見込まれている。報告にある「スクラップ・アンド・ビルドの徹底」とは何か。事業をスクラップする際の基準・指標はあるのか。事業検証はどのように行っているのか。

財政課長】 一律の基準は設けず、事業目的の達成度や社会情勢の変化、費用対効果、国や市町村との役割分担などの観点で総合的に検証し、不要事業を見直している。

石川】 新規・拡充事業の優先順位はどう決めているのか。

財政課長】 夏の政策レビューで施策の優先度を整理し、要求限度額の範囲で各局が既存事業を見直す仕組みとしている。

石川】 決算不用額の状況と改善策を確認する。

財政課長】 一般会計の決算不用額は、令和4年度約1,880億円、令和5年度約520億円、令和6年度約390億円と減少している。不用額抑制へ決算額を参考に単価・対象数を精査し、真に必要な経費を積算している。

石川】 積算精度の向上にDXやAIは活用できないのか。

財政課長】 事業により状況は異なるが、類似事業の比較などに活用可能であり、AI導入は今後の課題である。

石川】 これまで進めてきたデジタル化の効率化や対費用効果の検証はしているのか。

行政管理課長】 令和6年度の事務事業見直しでは提案段階で14件、年度中を含め計29件で約13.8万時間の削減効果を見込み、実績として約4.7万時間を削減した。削減時間は時間外労働の削減や新規事業対応、職員のスキル向上など多用途に充てられるため個別の金銭換算による評価は困難である。

組織人材部長（補足）】 削減した時間の使途は各所属で異なり、新事業や未実施の検証業務、時間外削減への充当等に使われている。なお、県全体の時間外労働は平成28年度の平均16.5時間から令和5年度は12.9時間へ縮減し、都道府県間順位も改善している。

石川】 デジタル化は重要だが費用対効果をきちんと検証し、職員配置や採用状況を踏まえて戦略的に進めるよう求める。

行政管理課長】 個別の状況に応じた評価や活用を進める。

石川】 毎年多額の財源不足からの編成となる中、限られた財源を重点化し、県民に成果が見える形での取組みを強く求める。

※質問の詳細はHP活動報告に記載しています。



活動報告

神社「例大祭」

9月、各地域の神社で執り行われた「例大祭」に伺いました。各神社では、神事に参加させていただいたり、お神輿の出発を見送らせていただいたりしました。太鼓の音が響きわたり、元気いっぱいの子どもの声に町内は活気にあふれていました。長年続く地域の伝統行事を通して、人と人とのつながりの温かさを改めて感じることができました。こうした行事が今後も末永く続くことを切に願います。



第27回禅師丸柿まつり

10月、柿生地域で開催された「第27回禅師丸柿まつり」に伺いました。毎年、禅師丸柿の収穫期に行われるお祭りですが、今年は第2会場として「未来トンネル」が設けられ、尻手黒川線トンネル工事現場の見学も行われました。伺った時間には、地元中学校吹奏楽部の演奏が披露され、会場では禅師丸柿の即売会や屋台、ステージイベントなども行われ、多くの方でにぎわっていました。会場ではたくさんの方にお声がけいただき、地域のさまざまなお話やご意見も伺うことができました。ありがとうございました。



第43回あさお区民まつり

10月、「第43回あさお区民まつり」に伺いました。式典前には、区役所前の道路で行われたパレードにも参加し、沿道から多くの方に温かい声をかけていただきました。開会式では、地域の発展に尽力された皆さまが表彰され、会場は拍手と笑顔に包まれていました。会場内には、わた菓子や焼きそば、キッチンカーなどのフードコーナーをはじめ、けん玉などの遊びの広場もあり、子どもから大人まで楽しめるお祭りとなりました。地域のつながりと活気を改めて感じる一日であり、これからもこの温かい交流の輪が広がっていくことを願っています。



駅頭・街頭活動

麻生区内の各駅にて、皆さまの通勤・通学時間帯を中心に活動報告をお配りしています。毎回多くのお声掛けをいただき、地域の皆さまの声を直接お聞きする貴重な機会となっております。お見かけの際はぜひご意見・ご要望をお聞かせください。



石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選（現在3期目）。麻生区在住。引きこもり支援相談士。
趣味：ジョギング（湘南国際マラソン大会・横浜マラソン大会などに出場。自己ベスト記録 3時間29分29秒）
好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりホームページ▶

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。

石川ひろのり 検索



事務所スタッフ募集中

石川ひろのり事務所では、週2日程度（平日）勤務できるスタッフを募集しています。詳細は石川ひろのりのホームページからお問い合わせください。また、随時ボランティアスタッフやポスター掲示にご協力いただける方を募集しております。皆さまの温かいご支援・ご協力をお待ちしております。

石川ひろのりの活動への
ご支援（個人献金）のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。
▶石川裕憲後援会 【郵便局】払込取扱票にて（口座番号 00200-7-52777）【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの
ご意見・ご質問を
お待ちしております。
FAX 044-455-6614
E-Mail info@hiro-ishikawa.jp

ご意見など

ご記入いただきました情報は業務に限り使用させていただきます。当事務所内にて適切な管理、監督を行います。

お名前

TEL

ご住所

議会運営委員会県外視察

8月、副委員長を務める議会運営委員会の県外調査で、京都府議会と広島県議会を2日間にわたり訪問しました。両議会では、議会改革の取組みや委員会運営の工夫について詳しく伺い、特に本会議や委員会の議事録のオンライン化、会議手続きの簡略化、情報発信の充実など、県民・府民に分かりやすく情報を届ける取組みを確認しました。今後の本県議会のより良い運営にしっかりと活かしてまいります。



広島県議会



京都府議会